

日本女子大学大学院文学研究科  
英文学専攻平成 21 年度開講科目

一博士課程前期一

近代英文学講義 I-1                      前期                      2 単位                      佐藤 達郎

【授業目的・内容】

イギリス・ルネサンス文学研究。Shakespeare, *The Sonnets* を精読するとともに、第一次・二次資料の取り扱い方について検討する。

【授業計画】

1 回に 70 行程度の精読を目標にする。

【成績評価の方法】

日常の講読の成果。

【使用テキスト・参考書】

William Shakespeare, *Complete Sonnets and Poems*. Ed. Colin Burrow. Oxford: Oxford UP, 2002.

上記のテキストの購入方法については、第一回目の授業で指示する。

【その他（受講生への要望など）】

*Oxford English Dictionary* を使いこなされるようにしていただきたい。

近代英文学講義 I-2                      後期                      2 単位                      佐藤 達郎

【授業目的・内容】

イギリス・ルネサンス文学研究。Shakespeare, *The Sonnets* を精読するとともに、第一次・二次資料の取り扱い方について検討する。

【授業計画】

1 回に 70 行程度の精読を目標にする。

【成績評価の方法】

日常の講読の成果。

【使用テキスト・参考書】

William Shakespeare, *Complete Sonnets and Poems*. Ed. Colin Burrow. Oxford: Oxford UP, 2002.

上記のテキストの購入方法については、第一回目の授業で指示する。

【その他（受講生への要望など）】

*Oxford English Dictionary* を使いこなされるようにしていただきたい。

現代英米文学演習-1                      前期                      2 単位                      上岡 伸雄

【授業目的・内容】

F. Scott Fitzgerald の *Tender Is the Night* は、長く改訂版が決定版として読まれてきたが、このところオリジナル版が再評価され、日本でも 2 種類の翻訳が相次いで出版された。この作品が一部のファンの間では Fitzgerald の傑作と評価されながら、あまり読まれてこなかった理由のひとつには、この版の問題がある。この授

業では、オリジナル版をじっくり読み直すことで、この作品の再評価を試みたい。

【授業計画】

作品の精読が基本。最初は丁寧に訳していき、慣れてきたら、20 ページから 30 ページを学生に割り当て、要約と難しい語句の解説などをしてもらう。どう訳すのか、訳すために必要な情報をどう集めるのかなど、実践的な指導もしたい。また、適宜評論も読んで、それについてディスカッションし、最終的には各自の *Tender Is the Night* 論を作成することを目標とする。

【成績評価の方法】

普段の授業への貢献度が何より重要。さらに学期末のレポートを勘案して評価する。

【使用テキスト・参考書】

F. Scott Fitzgerald, *Tender Is the Night* (Scribner) ISBN 978-0-684-80154

【その他 (受講生への要望など)】

毎回、各自がかなり調べてくること。範囲のすべてを翻訳できるように準備し、授業に参加することが求められる。

現代英米文学演習-2

後期

2 単位

上岡 伸雄

【授業目的・内容】

F. Scott Fitzgerald の *Tender Is the Night* は、長く改訂版が決定版として読まれてきたが、このところオリジナル版が再評価され、日本でも 2 種類の翻訳が相次いで出版された。この作品が一部のファンの間では Fitzgerald の傑作と評価されながら、あまり読まれてこなかった理由のひとつには、この版の問題がある。この授業では、オリジナル版をじっくり読み直すことで、この作品の再評価を試みたい。

【授業計画】

前期の現代英米文学演習-1 に引き続いて *Tender Is the Night* を読む。作品の精読が基本。最初は丁寧に訳していき、慣れてきたら、20 ページから 30 ページを学生に割り当て、要約と難しい語句の解説などをしてもらう。どう訳すのか、訳すために必要な情報をどう集めるのかなど、実践的な指導もしたい。また、適宜評論も読んで、それについてディスカッションし、最終的には各自の *Tender Is the Night* 論を作成することを目標とする。

【評価方法】

普段の授業への貢献度が何より重要。さらに学期末のレポートを勘案して評価する。

【テキスト】

F. Scott Fitzgerald, *Tender Is the Night* (Scribner) ISBN 978-0-684-80154

【その他 (受講生への要望など)】

毎回、各自がかなり調べてくること。範囲のすべてを翻訳できるように準備し、授業に参加することが求められる。

米文学演習-2

後期

2 単位

大場 昌子

【授業目的・内容】

Ernest Hemingway の長編 *A Farewell to Arms* (1929) を読む。さらに、この作品の批評を時代を追ってできるだけ数多く読み、包括的な研究を行いたい。

【授業計画】

毎回、分担した箇所について各自発表していただき、それについて全員で意見交換を行っていく。

【成績評価の方法】

学期末に作品についてのレポートを書いていただく。

【使用テキスト・参考書】

Ernest Hemingway, *A Farewell to Arms*

【その他（受講生への要望など）】

まずは正確にテキストを理解し、その上で多面的に問題意識をもってテキストを分析する姿勢を養っていただきたい。

英語学講義-1

前期

2 単位

松森 晶子

【授業目的・内容】

日本語の音声現象のうち、特にアクセントは、共時、通時の両面において、さまざまなテーマを提供してくれる興味の尽きない現象といえる。この授業では、現代日本語諸方言のデータをもとにしたアクセント研究の現状や、その動向について概説する。

まず、共時的に日本語アクセントを研究する際に必要な考え方と分析方法について解説する。

次に、豊富な方言間のアクセントを利用し、アクセント型の規則的対応を比較することから確立していった日本語アクセントの通時的考察方法の基礎についても解説する。

単なる概説ではなく、具体的なデータを学生ひとりひとりが分析してみることによって、アクセントの体系、規則性を発見する方法を、学生自身が体得するように指導したい。

【授業計画】

第 1～13 回

学生がそれぞれ割り当てられたテキストの部分について発表し、その内容に基づいて全員で議論することによって授業を進める。それと平行して、日本各地のアクセントの記述資料、音声データをもとに、学生が各自で分析をするという課題を課し、授業ではその分析結果を発表。討論する。

【成績評価の方法】

授業への参加 (25%)、発表の準備 (25%)、課題レポート (2～3 回) (50%)

【使用テキスト・参考書】

アクセント関係の諸論文。授業中にプリントで配布。

【その他（受講生への要望など）】

日本語アクセントについての予備知識は必要としないが、音声学の基礎的知識（学部レベルで可）が求められる。

英語学講義-2

後期

2単位

松森 晶子

【授業目的・内容】

前期に引き続き、現代日本語諸方言のデータをもとにしたアクセント研究の現状や、動向について解説する。後期は特に、日本語アクセントの通時的考察方法の背景的知識として必要とされる比較方言学の方法論に焦点が当てられる。

単なる概説ではなく、具体的なデータを学生ひとりひとりが分析して見ることによって、アクセントの体系、規則性を発見する方法を、学生自身が体得できるように指導したい。

【授業計画】

第1～13回

日本語諸方言のアクセントに関する諸論文を読みながら考察を深めるとともに、その分析方法について考える。それと平行して、アクセント関連資料をもとにしたデータ分析を実際に行う。前期と同じく、学生の発表、およびその内容に基づく討論によって進めたい。

【成績評価の方法】

授業への参加（25%）、発表の準備（25%）、課題レポート（50%）

【使用テキスト・参考書】

日本語アクセント関係の諸論文、概説書からの抜粋をテキストとして使用。（テキストは授業で配布）

英語学演習-1

前期

2単位

藤井 洋子

【授業目的・内容】

異文化で異なるコミュニケーションのあり方を、トランス・ディシプリナ視野から解明していく。まずは、談話分析、会話分析、語用論、人類言語学などの考え方を基礎知識とし、生のデータが語る会話やインターアクションの本質に迫る。

【授業計画】

院生による発表を軸に、ディスカッションを行いながら授業を進めていく。

【成績評価の方法】

授業への貢献度、期末のペーパー

【使用テキスト・参考書】

Jaworski, Adam and N. Coupland (eds). 1999. The discourse reader. Routledge. ほか、抜粋論文。

英語学演習-2

後期

2単位

藤井 洋子

【授業目的・内容】

異文化で異なるコミュニケーションのあり方を、トランス・ディシプリナ視野

から解明していく。まずは、談話分析、会話分析、語用論、人類言語学などの考え方を基礎知識とし、生のデータが語る会話やインターアクションの本質に迫る。

【授業計画】

院生による発表を軸に、ディスカッションを行いながら授業を進めていく。

【成績評価の方法】

授業への貢献度、期末のペーパー

【使用テキスト・参考書】

各ジャーナルからの抜粋論文の他、言語学の方法論、文化論など。

イギリス文化講義-1

前期

2 単位

川端 康雄

【授業目的・内容】

イギリス 19 世紀の批評家 John Ruskin (1819–1900) の自伝 *Praeterita* (1885–88) を主要なテキストとし、これを読みながら、Ruskin の芸術思想の特質と今日的な意義を、彼が生きたヴィクトリア朝イギリスの社会的文化的コンテクストをおさえつつ考察する。

【授業計画】

各章を 2 回で読み終えるペースで進める。

【成績評価の方法】

平常点 (発表、議論への貢献、提出物) による。

【使用テキスト・参考書】

*Praeterita* については、諸版があるが、以下の Everyman's Library 版を購入することが望ましい。John Ruskin, *Praeterita*, with an Introduction by Tim Hilton, New York: Alfred A. Knopf, 2005 (Everyman's Library, no. 279).

他の諸版、および参考文献については授業時に指示する。

【その他 (受講生への要望など)】

Ruskin の多面体に接することが、受講者の主要研究テーマに何らかのかたちで生かされることを期待する。

イギリス文化講義-2

後期

2 単位

川端 康雄

【授業目的・内容】

「イギリス文化講義-1」に引き続いて、イギリス 19 世紀の批評家 John Ruskin (1819–1900) の自伝 *Praeterita* (1885–88) を主要なテキストとし、これを読みながら、Ruskin の芸術思想の特質と今日的な意義を、彼が生きたヴィクトリア朝イギリスの社会的文化的コンテクストをおさえつつ考察する。

【授業計画】

各章を 2 回で読み終えるペースで進める。

【成績評価の方法】

平常点 (発表、議論への貢献、提出物) による。

【使用テキスト・参考書】

*Praeterita* については、諸版があるが、以下の Everyman's Library 版を購入するこ

とが望ましい。John Ruskin, *Praeterita*, with an Introduction by Tim Hilton, New York: Alfred A. Knopf, 2005 (Everyman's Library, no. 279). 他の諸版、および参考文献については授業時に指示する。

【その他（受講生への要望など）】

Ruskin の多面体に接することが、受講者の主要研究テーマに何らかのかたちで生かされることを期待する。

#### アメリカ文化講義-1 前期 2 単位 島田 法子

【授業目的・内容】

前期は多文化時代のアメリカで揺れ動く移民・人種問題を扱う。基本的なテキストとして Carol M Swain, *Debating Immigration* (Cambridge University Press, 2007) を取り上げるが、その他の関連する論文を加えて読む。人種間関係やエスニック・グループ間関係を軸として、現代アメリカ社会が抱える諸問題について学ぶ。さらに枠を広げて、各自が関心のあるテーマに関する論文を取り上げる予定である。各自が関連テーマを自由に選択し、研究を進めてレポートを作成する。

【授業計画】

毎週論文と資料、あるいは著作を取り上げ、分析的に読み、批判評価を試みる。学生は担当箇所に関するハンドアウトを作成し、クラスで配布する。活発な意見の表明が望まれる。

期末には、歴史、文化、文学、社会等の広い範囲から各自の研究テーマを選び、レポートを書くとともに、クラスで口頭発表も行う。

【成績評価の方法】

授業参加 50%、レポート 50%（日本語で 10,000～12,000 字）

【使用テキスト・参考書】

Carol M Swain, *Debating Immigration* (Cambridge University Press, 2007). その他プリント配布。

【その他（受講生への要望など）】

特になし

#### アメリカ文化講義-2 後期 2 単位 島田 法子

【授業目的・内容】

後期は、人種、エスニシティだけでなく、ジェンダーを含めて、差別について考察する。テキストとして Rosenblum, Karen E. and Noni-Michelle C. Travis, *The Meaning of Difference* を中心に扱うが、その他の関連する論文を加えて読む。人種、エスニシティ、ジェンダー、という概念やそれぞれのグループに関する論文を読み進める。さらに枠を広げて、各自が関心のあるテーマに関する論文を取り上げる予定である。

期末には、各自が関連テーマを自由に選択し、研究を進めてレポートを作成する。

【授業計画】

毎週論文と資料、あるいは著作を取り上げ、分析的に読み、批判評価を試みる。

活発な意見の表明が望まれる。歴史、文化、文学、社会等の広い範囲から各自の研究テーマを選び、レポートを書くとともに、クラスで口頭発表も行う。

【成績評価の方法】

授業参加 50%、前期・後期レポート 50%（日本語で 10,000～12,000 字）

【使用テキスト・参考書】

Rosenblum, Karen E. and Noni-Michelle C. Travis, *The Meaning of Difference*. 4th ed. 2006.

【その他（受講生への要望など）】

特になし

英語論文作成法・上級-1      前期      2 単位      アン・スレイター

【授業目的・内容】

The following applies to both first and second semesters.

Summary:

This course focuses on writing the M.A. and Ph.D. thesis.

【授業計画】

Plan:

Students will meet regularly with the instructor to consult on their thesis.

【成績評価の方法】

Methods of Evaluation:

Regular consultation with the instructor and progress on the thesis.

英語論文作成法・上級-2      後期      2 単位      アン・スレイター

【授業目的・内容】

The following applies to both first and second semesters.

Summary:

This course focuses on writing the M.A. and Ph.D. thesis.

【授業計画】

Plan:

Students will meet regularly with the instructor to consult on their thesis.

【成績評価の方法】

Methods of Evaluation:

Regular consultation with the instructor and progress on the thesis.

英語論文作成法・上級-1      前期      2 単位      ダニエル・ジョン・ガリモア

【授業目的・内容】

The purpose of this course is to help students develop their academic writing skills prior to submission of their thesis for the postgraduate degrees. Advice is offered on planning, writing and formatting the thesis, with students making individual appointments as required.

【成績評価の方法】

Students are required to submit a title, abstract and plan for checking before the end of the year and at least 7,500 words of the complete thesis by the second Friday in January.

英語論文作成法・上級-2 後期 2単位 ダニエル・ジョン・ガリモア

【授業目的・内容】

The purpose of this course is to help students develop their academic writing skills prior to submission of their thesis for the postgraduate degrees. Advice is offered on planning, writing and formatting the thesis, with students making individual appointments as required.

【成績評価の方法】

Students are required to submit a title, abstract and plan for checking before the end of the year and at least 7,500 words of the complete thesis by the second Friday in January.

西洋古典・中世文学特論-1 前期 2単位 川端 康雄

【授業目的・内容】

Vergilius (Virgil) の叙事詩 *Aeneis* (*Aeneid*) の第4巻をラテン語原典で精読する。Carthago の女王 Dido の Aeneas への悲恋、あるいは「狂気の恋」の悲劇的顛末を語った巻である。これと Ovidius (Ovid) の *Heroides* 中の Dido の書簡、千年以上の時を隔てての、12世紀フランスの *Le Roman d'Enéas*, 14世紀の Chaucer の *The Legend of Good Women* および *The House of Fame* での Dido への同情 (および *Aeneis* への批判)、さらにエリザベス朝期では Marlowe の *Dido, Queen of Carthage* といった再話・翻案などを重ね合わせて、「Dido の愛し方」の文学的変容を探るのは興味深いことだが、なによりもまずこの基本中の基本といえるテキストをじっくり読んでみるのが肝心である。

【授業計画】

毎回 30 行程度を目標にテキストを読み進める。

【成績評価の方法】

平常点による。

【使用テキスト・参考書】

テキストはプリントを配布して使用。辞書および参考文献は授業中に指示する。

【その他 (受講生への要望など)】

ラテン語の初等文法を習得していて、英文学と西洋古典の伝統との関連について関心を有する学生を歓迎する。

西洋古典・中世文学特論-2 後期 2単位 川端 康雄

【授業目的・内容】

前期の西洋古典・中世文学特論-1 に引き続き、Vergilius (Virgil) の叙事詩 *Aeneis*



(Aeneid) の第 4 巻をラテン語原典で精読する。

【授業計画】

毎回 30 行程度を目標にテキストを読み進める。

【成績評価の方法】

平常点による。

【使用テキスト・参考書】

テキストはプリントを配布して使用。辞書および参考文献は授業中に指示する。

【その他（受講生への要望など）】

ラテン語の初等文法を習得して、英文学と西洋古典の伝統との関連について関心を有する学生を歓迎する。

英米小説特論 I-1                      前期                      2 単位                      三神 和子

【授業目的・内容】

Oscar Wilde が編集長として活躍した *The Woman's World* (1887-1889) を読む。

【授業計画】

分担を決めて、執筆者や社会背景について等、調べながら、少しずつ読み進み、当日の女性の考えや状況と考察する。

【成績評価の方法】

発表内容と期末レポート。

【使用テキスト・参考書】

テキストはプリントを配布。

英米小説特論 I-2                      後期                      2 単位                      三神 和子

【授業目的・内容】

Oscar Wilde が編集長として活躍した *The Woman's World* (1887-1889) を読む。

【授業計画】

分担を決めて、執筆者や社会背景について等、調べながら、少しずつ読み進み、当日の女性の考えや状況と考察する。

【成績評価の方法】

発表内容と期末レポート。

【使用テキスト・参考書】

テキストはプリントを配布。

文学理論特論-1                      前期                      2 単位                      ソーントン不破 直子

【授業目的・内容】

1960 年代以降の思想と文学理論の主要論文を読む。前期はリベラル・ヒューマニズムがいかに批判されたかを焦点として、構造主義、ポスト構造主義、新マルクス主義、フェミニズム、ナラトロジーの論文を読む。自分の興味ある作品・トピックをこれらの理論を使って論じたペーパーを書いていただく。

【授業計画】

1. Introduction
2. Ferdinand de Saussure
3. Roland Barthes, “To Write: An Intransitive Verb?”
4. David Lodge
5. Marxism and Neo-Marxism: Marx and Engels
6. —: Althusser
7. —: Balibar and Macherey
8. Simone de Beauvoir; Elaine Showalter
9. Sandra Gilbert and Susan Gubar
10. The Marxist-Feminist Collective
11. Roland Barthes, “The Death of the Author”
12. Jacques Derrida, “Before the Law”
13. M. M. Bakhtin

【成績評価の方法】

自分が選んだ思想家、理論家の文献に関する発表と期末のペーパーによる。ペーパーの内容は、このコースで得たことを、修士論文、博士論文のテーマに使ってみることを勧める。

【使用テキスト・参考書】

授業で取り上げるテキストはコピーを配布する。

参考書: Rice and Waugh, *Modern Literary Theory: A Reader*. 4th Ed. London: Arnold, 2001.

ソーントン不破直子『ギリシアの神々とコピーライター「作者」の変遷、プラトンからIT革命まで』

文学理論特論-2

後期

2単位

ソーントン不破 直子

【授業目的・内容】

1960年代以降の思想と文学理論の主要論文を読む。後期は、新歴史主義、ポスト植民地主義のあと、ポストモダニズムと呼ばれる文化全般にわたる変革に関する文献を読む。

【授業計画】

1. Introduction
2. 前期提出ペーパーの発表とコメント
3. つづき
4. Hayden White
5. Stephen Greenblatt
6. Edward Said
7. ポストモダニズムの状況
8. Fredric Jameson
9. つづき

10. つづき
11. Ihab Hassan
12. Jean Baudrillard
13. 後期ペーパー（ポストモダニズム）の構想を発表

【成績評価の方法】

自分が選んだ思想家、理論家の文献に関する発表と期末のペーパーによって評価する。

特に後期はポストモダニズム理論を多く読むので、現代のさまざまな社会現象、文学、芸術などをこれらの理論を適用して分析、理解する期末ペーパーを書くことをすすめたい。

【使用テキスト・参考書】

使用テキスト：

White, Greenblatt, Said の文献はコピーを配布する。ポストモダニズムに関しては、以下の本を使うので、各自で購入しておいてほしい。

Thomas Docherty, Postmodernism: A Reader. New York: Harvester Wheatsheaf, 1993.

参考書：

Rice and Waugh, Modern Literary Theory: A Reader. 4th Ed. London: Arnold, 2001.

ソートン不破直子『ギリシアの神々とコピーライター「作者」の変遷、プラトンから IT 革命まで』

比較文化・言語特論-1

前期

2 単位

唐須 教光

【授業目的・内容】

言語は人間に特有であると言われるが、その言語活動を可能にしている人間の能力、素質、傾向、環境とは何かを、人間と類人猿のコミュニケーションの特徴を問うことによって、理解しようとするものである。一年の終わりには、人間の言語を見るパースペクティブが広がっていることを目標にする。

【授業計画】

前期は主として、人類学者の刺激的な言語の起源に関するものを読み議論をします。まず、種としてのヒトの位置づけから初めて、どのようにしてヒトは言語を獲得したか、ヒトの言語は他の霊長類のコミュニケーションと何が異なるのか、それが何をヒトにもたらしたのかを多角的に考察します。

【成績評価の方法】

平常点による。

【使用テキスト・参考書】

Michael Tomasello: Orgins of Human Communication. The MIT Press 2008

【その他（受講生への要望など）】

積極的にクラスに貢献するようにしてください。また、労を厭わないで、自らの力で考えるようにしてください。

比較文化・言語特論-2 後期 2単位 唐須 教光

【授業目的・内容】

前期と同一のテーマを追求するが、後期は主として認知言語学からのアプローチを試みるつもりである。そこで問題となるのは、言語の能力と他の認知能力がいかに関連しているか、また、言語人類学的研究や、認知言語学的研究が一般的な言語理論とどのように関わってくるかも見てゆきたい。

【授業計画】

前期と同じように、各自の分担を発表してもらい、それに基づいて議論をしてゆく。

【成績評価の方法】

平常点。

【使用テキスト・参考書】

前期の終わりに指定する。

【その他（受講生への要望など）】

前期と同じ。

イギリス文化特論-1 前期 2単位 佐藤 和哉

【授業目的・内容】

児童文学に関する入門的な研究書を正確に読むことを目的とします。受講者は英文を精読する根気とともに、取り上げられている研究者や作品について積極的に調べてくれることが求められます。テキストは Hunt, Peter. ed. *Understanding Children's Literature*. 2nd. ed. London and NY: Routledge, 2005. を用います。毎回担当者を決めて読んでいきます。また、必要に応じて、受講者によるミニ研究発表を入れるかもしれません。詳細は初回に説明します。

【授業計画】

上記を参照してください。

【成績評価の方法】

授業に対する貢献度と期末のレポートなどから総合的に判断します。

【使用テキスト・参考書】

「授業目的・内容」欄を参考してください。

【その他（受講生への要望など）】

児童文学の「研究」は、単に児童文学が好きだ、ということではできません。研究史や方法論についての知識は不可欠です。またここで身につけたものは、ほかの文学作品や文化現象にも応用できますから、児童文学に直接興味がない人でもとりあえずのぞいてみてください。

イギリス文化特論-2 後期 2単位 佐藤 和哉

【授業目的・内容】

児童文学に関する入門的な研究書を正確に読むことを目的とします。受講者は英文を精読する根気とともに、取り上げられている研究者や作品について積極的に

調べてくれることが求められます。テキストは Hunt, Peter. ed. *Understanding Children's Literature*. 2nd. ed. London and NY: Routledge, 2005. を用います。毎回担当者を決めて読んでいきます。また、必要に応じて、受講者によるミニ研究発表を入れるかもしれません。詳細は初回に説明します。

【授業計画】

上記を参照してください。

【成績評価の方法】

授業に対する貢献度と期末のレポートなどから総合的に判断します。

【使用テキスト・参考書】

「授業目的・内容」欄を参考にしてください。

【その他（受講生への要望など）】

児童文学の「研究」は、単に児童文学が好きだ、ということではありません。研究史や方法論についての知識は不可欠です。またここで身につけたものは、ほかの文学作品や文化現象にも応用できますから、児童文学に直接興味がない人でもとりあえずのぞいてみてください。

アメリカ研究特論 I-1

前期

2 単位

白井 洋子

【授業目的・内容】

“American exceptionalism” について、アメリカ史学史の文脈から考察することを目的とする。アメリカ社会における自国史像の変遷、世界史の中のアメリカ、という視点をも組み込みながら、アメリカ民主主義、アメリカニズムを今日的状況のなかで捉えなおすことができればと考える。

【授業計画】

授業テーマに関連する文献、論文を読み、討論する。歴史、社会、文化、思想の領域を行き来する討論、受講者の研究領域からの活発な討論が行われることを期待する。

【成績評価の方法】

口頭発表、授業参加、学期末レポートによる総合評価。

【使用テキスト・参考書】

開講時に指示する。

アメリカ研究特論 I-2

後期

2 単位

白井 洋子

【授業目的・内容】

“American exceptionalism” と結びつけて、人種とジェンダーの問題に焦点を当てる。さらには階級や格差などの経済的側面がこれらの問題にどう関わっているのかを考察する。受講者がそれぞれの研究テーマと関連づけながら史資料を読み、率直活発に議論し、知的に刺激し合う場となることを希望する。

【授業計画】

授業テーマに関連する文献。論文を読み、討論する。

【成績評価の方法】

口頭発表、授業参加、学期末レポートによる総合評価。

【使用テキスト・参考書】

開講時に指示する。

—博士課程後期—

近代英文学特殊研究-1      前期      2 単位      三神 和子

【授業目的・内容】

個人面談により、研究課題、論文執筆、学会発表などについて話し合い、アドバイスをする。また、18 世紀から 20 世紀にかけてのイギリス文学の作品、批評について議論することにより、問題点を明らかにし、研究の方向性を考える。

【授業計画】

院生の必要に応じて、面接を行う。特に、修士論文については Summary 作成を目指す。

【成績評価の方法】

面接における準備、議論、提出物などを総合的に判断する。

【使用テキスト・参考書】

面接の際に適宜紹介する。

近代英文学特殊研究-2      後期      2 単位      三神 和子

【授業目的・内容】

「近代英文学特殊研究-1」に同じ。

【授業計画】

「近代英文学特殊研究-1」に同じ。修士論文に関しては、1 週間前に提出された原稿を添削し、次週面接において修正・加筆の必要性について議論する。

【成績評価の方法】

「近代英文学特殊研究-1」に同じ。

【使用テキスト・参考書】

「近代英文学特殊研究-1」に同じ。

英米文学特殊研究-1      前期      2 単位      ソーントン不破 直子

【授業目的・内容】

20 世紀アメリカ文学の研究を、受講生の希望を考慮して行う。

【授業計画】

個人指導となるので、一人、一人の受講生との話し合いで計画をたてる。

【成績評価の方法】

当初の計画を達成しているか、否かによって評価する。

【使用テキスト・参考書】

受講生の必要に応じて指導する。

英米文学特殊研究-2 後期 2 単位 ソーントン不破 直子

【授業目的・内容】

20 世紀アメリカ文学の研究を、受講生の希望を考慮して行う。

【授業計画】

個人指導となるので、一人、一人の受講生との話し合いで計画を立てる。

【成績評価の方法】

当初の計画を達成しているか、否かによって評価する。

【使用テキスト・参考書】

受講生の必要に応じて指導する。

英米文学特殊研究-1 前期 2 単位 三神 和子

【授業目的・内容】

児童文学も含めた 19, 20 世紀のイギリスの小説を中心に、学生の興味に応じて取り上げ、考察する

【成績評価の方法】

レポートによる。

英米文学特殊研究-2 後期 2 単位 三神 和子

【授業目的・内容】

児童文学も含めた 19, 20 世紀のイギリス小説を取り上げ、文化的アプローチの仕方など様々な研究方法を考える。

【成績評価の方法】

レポートによる。

アメリカ文学特殊研究-1 前期 2 単位 ソーントン不破 直子

【授業目的・内容】

20 世紀アメリカ小説の研究を、受講生の希望を考慮して行う。

【授業計画】

個人指導となるので、受講生と話し合いで計画を立てる。

【成績評価の方法】

当初の計画を満たしているか、否かによって評価する。

【使用テキスト・参考書】

受講生の必要に応じて指導する。

アメリカ文学特殊研究-2 後期 2 単位 ソーントン不破 直子

【授業目的・内容】

20 世紀アメリカ小説の研究を、受講生の希望を考慮して行う。

【授業計画】

個人指導となるので、受講生と話し合いで計画を立てる。

【成績評価の方法】

当初の計画を満たしているか、否かによって評価する。

【使用テキスト・参考書】

受講生の必要に応じて指導する。

英語学特殊研究-1                      前期                      2単位                      藤井 洋子

【授業目的・内容】

博士課程後期の学生に対して、論文執筆の指導を行う。特に国際ジャーナルに投稿できるレベルを目標にする。

【授業計画】

個人面談を中心に進めていきます。

【成績評価の方法】

論文執筆までの仮説の立て方、データ分析の精度、考察の方向性、結論の妥当性などを中心に、進み具合とその内容の充実度合いを中心に評価を行います。

英語学特殊研究-2                      後期                      2単位                      藤井 洋子

【授業目的・内容】

前期と同様、博士課程後期の学生に対して、論文執筆の指導を行う。特に国際ジャーナルに投稿できるレベルを目標にする。

【授業計画】

個人面談を中心に指導します。

【成績評価の方法】

論文執筆の進め方、データ分析の緻密さ、考察の深さなどを中心に、執筆された論文により評価を行います。

英語学特殊研究-1                      前期                      2単位                      松森 晶子

【授業目的・内容】

言語研究の方法（テーマの設定の仕方、仮説の立て方、結論の導き方、論文の書き方、等）について、それぞれの学生に合わせた個別の研究指導を行う。音声・音韻関係の論文を仕上げることを目的として指導する。

【授業計画】

第1～13回

個別面接によって指導を行う。

【成績評価の方法】

面接での準備状況、レポートによる。

【使用テキスト・参考書】

学生に応じて考える。



英語学特殊研究-2                      後期                      2 単位                      松森 晶子

【授業目的・内容】

言語研究の方法（テーマの設定の仕方、仮説の立て方、結論の導き方、論文の書き方、等）について、それぞれの学生に合わせた個別の研究指導を行う。音声・音韻関係の論文を仕上げることを目的として指導する。

【授業計画】

第 1～13 回

個別面接によって指導を行う。

【成績評価の方法】

面接での準備状況、レポートによる。

【使用テキスト・参考書】

学生に応じて考える。

イギリス文化特殊研究-1                      前期                      2 単位                      川端 康雄

【授業目的・内容】

イギリス文化研究に関して、研究テーマの設定や方法論、あるいは先行研究の調査などについて、指導をおこなう。

【授業計画】

受講生の必要に応じて個人指導をおこなう。

【成績評価の方法】

個人指導に際しての議論、提出物によって総合的に評価する。

【使用テキスト・参考書】

受講生の研究テーマに応じて適宜指示する。

【その他（受講生への要望など）】

面談日時は事前にメールで相談の上で決める。

イギリス文化特殊研究-2                      後期                      2 単位                      川端 康雄

【授業目的・内容】

イギリス文化研究に関して、研究テーマの設定や方法論、あるいは先行研究の調査などについて、指導をおこなう。

【授業計画】

受講生の必要に応じて個人指導をおこなう。

【成績評価の方法】

個人指導に際しての議論、提出物によって総合的に評価する。

【使用テキスト・参考書】

受講生の研究テーマに応じて適宜指示する。

【その他（受講生への要望など）】

面談日時は事前にメールで相談の上で決める。

アメリカ研究特殊研究-1 前期 2単位 島田 法子

【授業目的・内容】

アメリカ研究の分野の研究テーマを持つ受講者に対して、個別の研究指導を行う。

【授業計画】

必要に応じてアポイントメントによって、指導する。

【成績評価の方法】

論文の作成過程と論文の内容による。

【使用テキスト・参考書】

なし

【その他（受講生への要望など）】

なし

アメリカ研究特殊研究-2 後期 2単位 島田 法子

【授業目的・内容】

アメリカ研究の分野の研究テーマを持つ受講者に対して、個別の研究指導を行う。

【授業計画】

必要に応じてアポイントメントによって、指導する。

【成績評価の方法】

論文の作成過程と論文の内容による。

【使用テキスト・参考書】

活字化された史料をテキストとし、写真などを必要に応じて参照する。参考文献は必要に応じて示す。

【その他（受講生への要望など）】

なし

アメリカ研究特殊研究-1 前期 2単位 白井 洋子

【授業目的・内容】

アメリカ研究を専攻する受講者への個別研究指導を行う。

【成績評価の方法】

提出された研究論文に基づく。

【使用テキスト・参考書】

テキスト

受講者の研究テーマに基づく史資料の検討を含め、個別に指示する。

アメリカ研究特殊研究-2 後期 2単位 白井 洋子

【授業目的・内容】

アメリカ研究を専攻する受講者への個別研究指導を行う。

【成績評価の方法】

提出された研究論文に基づく。

【使用テキスト・参考書】

テキスト

受講者の研究テーマに基づく史資料の検討を含め、個別に指示する。

平成 20 年度 Veritas 賞受賞論文

- 新下 彩子 A Comparative Study of Intonation in Spoken English and Japanese: Some Proposals for Teaching Communicative English to Japanese EFL Learners

平成 20 年度 島田賞受賞論文

- 上野英理子 The Background of the U.S.-led War against Iraq

平成 21 年度 修士論文題目

- 平田真知子 A Comparative Study of Linguistic Expressions of Time in English and Japanese: The Meaning and Function of *-Ta* for Foreign Learners of Japanese
- 石原 道子 Oscar Wilde as an Irish Writer in The Picture of Dorian Gray
- 木田あかね Self and Community in Toni Morrison's Fiction
- 佐々木周子 A Psychological Analysis of Two of Hemingway's Female Characters
- 永井 順子 Kenneth Grahame and Arcadia: The Natural Perspective of The Wind in the Willows
- 保谷 朋子 Representations of London in Early-Modern England
- 松本奈津子 What Makes Listening Difficult?: Helping Japanese EFL Learners to be Better Listeners by Focusing on the Post-lexical Level of Spoken English

平成 21 年度 修了論文題目

- 白井 香織 Differences in "Information" in Disagreement in Japanese and English: An Investigation using the Framework of the "Internal/External Direct Experiences" of the Speaker/Hearer
- 熊倉 麻名 From The Two Noble Kinsmen to The Double Marriage—Women's Madness in Jacobean Drama
- 清宮 協子 An Ethical Evaluation of Contemporary Responses to Hardy's Tess of the d'Urbervilles
- 増田和香子 Crossing Boundaries in Madonna's Material Girl, Like a Prayer, and Justify My Love
- 町 沙恵子 How Repetition Works in Japanese and English: Towards an Elucidation of Different Cultural Orientations to Conversation